

# 健やかな成長を願って ～街頭補導活動から～

まず大人が  
子どもたちの  
手本となる行動を



専任少年委員  
井上 壽子さん(平野町)

街頭補導では、子どもの良くない行為を見かければ声かけをしたり、注意をしたりしています。しかし、実際に話をしてみると、ほとんどは素直でいい子どもたちです。

青少年の問題は大人社会の問題の反映であることを踏まえ、まず大人が自分自身の普段の行ないについて見直して見ることが大事ではないでしょうか。子どもたちの手本となる行動で、身をもって社会の基本的なマナーやルールを伝えていくという姿勢を示したいですね。

子ども支援センターでは、専任少年委員を中心に毎週1回程度、街頭補導活動を実施しています。

主な活動場所は、JR出雲市駅周辺やゲームセンター、カラオケ店、大型店、公園などです。各地域を巡回し、気になる行動の子どもたちに「声かけ」をしています。今年度からは、JR・一畑電車内でのパトロールも実施し、活動の場を広げています。

## 出雲市子ども支援センターの主な業務

- ①相談活動 ②子ども支援活動 ③補導活動
- ④啓発活動 ⑤他機関連携・環境浄化など

- 場 所 出雲市今市町北本町1-7 (出雲勤労青少年ホーム内)
- 電 話 21-4444
- 相談電話フリーダイヤル 0120-84-7867
- 相談時間(月～金)8:30～18:00 (土) 8:30～17:00

平成20年(2008)1月

# 青い旅

## 地域の子どもを守り育てる 地域のおじさん、おばさんになろう



大津慶友会有志見守り隊の皆さんは、毎朝交差点に立って、登校中の子どもたちに「おはよう」と声かけをしています(12月19日)

前回の「青い旅」(広報いすも第60号)では、「大人が変われば、子どもが変わる」という青少年育成国民会議の青少年健全育成運動の基本理念を取り上げました。今回は、その活動のひとつである「地域のおじさん、おばさん運動」を紹介いたします。

「地域のおじさん、おばさん運動」の基本は、近隣の子もたちと向き合い、温かく見守ろうという気持ちです。一昔前までは、町を歩けば、地域の人があいさつをしてくれたり、悪い事をすれば叱ったりしてくれました。それは、地域の人と顔見知りであったことが基盤にあったからです。

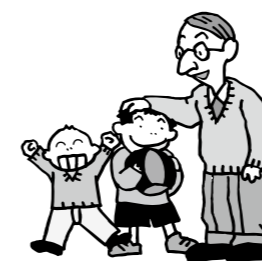
ところが、都市化が進み隣近所に無関心になるなど、大人と同様に子どもも地域との関わりが希薄化してきています。

子どもが健やかに成長するためには、身内(家族・親戚)と世間(友達・地域)とのつながりが広く厚いことが大切です。核家族化や少子化が進み身内が少なくなった今、地域の果たす役割は大きなものがあります。

地域に住むおじさん、おばさんとして、自分にできる身近なことから、多くの子どもと関わってみませんか。

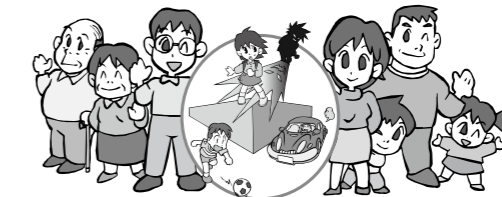
## ・・・たとえば、次のようなことから始めてみましょう・・・

☆子どもたちに積極的に  
声かけをして顔見知りになる



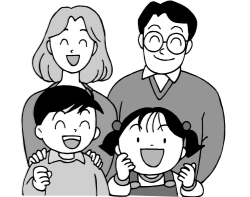
☆子どもたちを事故や  
犯罪から守る

地域に事故や犯罪につながる危険な場所がないか点検してみる。子どもたちの登下校時に家の外に出てみる。



☆子どもたちの立場を  
考えてあげる

子どもが困っているときや苦しんでいるときは、良き理解者、親身な相談相手になりましょう。



## パトロール中 子どもたちのこのような行動に声かけをしています

### ●放置自転車



JR出雲市駅 駐輪禁止区域

### ●未成年の喫煙



### ●ごみのポイ捨て



JR出雲市駅 南北通路

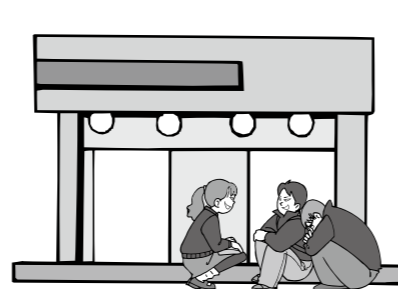
### ●落書き



### ●自転車の二人乗り



### ●店の前などでの座り込み



- このほか...
- 公共施設の電源の無断使用(携帯電話などの充電など)
  - 身体障害者用トイレの占用(化粧、喫煙、着替えなど)
  - 家族を避けて夜通し遊ぶ

みんなで社会のルールやマナーを守り、住みよいまちにしていきましょう